

第47回研究大会 研究発表の募集について

〈メインテーマ〉「未来を切り拓く信頼と変革の力」
～持続可能な社会を実現するための公認会計士の使命～

〈開催日〉2026年9月4日(金)

〈会場〉ホテルニューオータニ(東京)
(東京都千代田区紀尾井町4-1)

社会が抱える課題が複雑化する中、企業や非営利組織と社会を繋ぐ「情報開示」の質とその深さが信頼構築の鍵を握っています。2027年3月期よりサステナビリティ情報開示の義務化が始まるなど、特に、持続可能性の観点からの情報開示は、単なるコンプライアンスを超え、企業が企業活動全体を通じた社会的価値を示す不可欠な手段となっています。また、社会が求める各種分野における透明性の向上により、公認会計士が提供する保証分野の拡大も見込まれています。

本テーマでは、企業活動全体に対する公認会計士が持つ専門知見を活かし、情報開示を通じて信頼を築く新たな枠組みを議論します。東京という国際的な舞台で、社会と企業や非営利組織の透明性向上を牽引する「信頼と変革の力」を探求し、情報開示の深化が生む新しい価値と、未来の経済社会への貢献を考えます。

本大会では、我が国経済が直面する近時の課題を解決するために、公認会計士の立場からの研究発表を行い、全国の会計士が集い、その内容を深く議論し、解決への道筋を模索します。また、大会を通じて関係者同士がネットワーキングを行い、新しい出会いや旧友との再会を楽しむ機会も提供します。この特別な場にぜひご期待ください。

研究発表募集要領

1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「未来を切り拓く信頼と変革の力」～持続可能な社会を実現するための公認会計士の使命～に関連するテーマとします。

3. 募集内容

(1) テーマ及び発表者（パネリスト）の募集

① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A 4判10頁以内（目次、図表等全てを含みます）
 - ※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料（MS PowerPointソフトウェア利用）を後日ご提出いただきます。
- ・ 1頁の設定 40字38行（フォントサイズは本文11ポイント）
- ・ 研究大会当日は論文内容につきスライド資料をご用意いただき、内容についてご発表いただきます。

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文（テーマ）及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネリスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書（テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載）を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A 4判5頁程度
 - ※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料（MS PowerPointソフトウェア利用）を後日ご提出いただきます。
- ・ 人数はパネリスト及びコーディネーター含め5名以内（厳守）

(2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ（例えば「公認会計士制度のあり方」など）及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門能力開発制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電話番号を記載の上、ご応募ください。

4. 応募・推薦締切日及び資料提出方法

(1) 応募・推薦締切日：2026年1月16日（金）（必着）

【提出資料】A4判1頁程度にて以下をご記載ください

- ・テーマタイトル
- ・発表方法
(研究論文、パネルディスカッション、フリーディスカッションの別)
- ・発表者の氏名、肩書（複数名の場合は全員）
- ・テーマの趣旨・概要（500字以内）

【提出方法】下記宛先に下記の件名を入力の上、メールにてご応募ください。

宛先：kenkyutaiikai@sec.jicpa.or.jp

件名：研究発表テーマ（氏名）

(2) 詳細資料提出期限：2026年2月28日（土）（必着）

【提出資料】「3. 募集内容」に記載の資料

【提出方法】宛先：kenkyutaiikai@sec.jicpa.or.jp

件名：研究発表資料（氏名）

5. 選考

継続的専門能力開発制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法（研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式）が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご注意ください。

6. 発表予定テーマ数

今大会（第47回研究大会）では、10テーマ程度の発表を予定しております。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中に含めることも検討します。

7. 発表日時・会場

発表日時：2026年9月4日（金）午後

発表時間：未定

発表会場：ホテルニューオータニ（東京）

8. 研究発表の決定

2026年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

9. 問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1

日本公認会計士協会 総務本部研修グループ

TEL：03-3515-1126（直通）

E-Mail：kenkyutaiikai@sec.jicpa.or.jp

（企画運営）継続的専門能力開発制度協議会・研究大会2026実行委員会

＜参考＞前回の研究発表テーマ一覧（第46回研究大会）

前回メインテーマ：いのち輝く未来社会における公認会計士の役割

【研究発表①】

テーマ1	【パネルディスカッション】 【いのち輝く未来社会におけるアカウンティングの在り方】 ～会計（Accounting）の本質とサステナビリティ情報開示～
テーマ2	【パネルディスカッション】 改正政治資金規正法を踏まえた政治資金監査と登録政治資金監査人に求められる役割について
テーマ3	【パネルディスカッション】 未来社会で輝く公認会計士のための多様性戦略とは何か？
テーマ4	【パネルディスカッション】 金融課税の論点整理
テーマ5	【論文】 【学術賞】業績予想の実証分析－企業行動とアナリストを中心に

【研究発表②】

テーマ6	【パネルディスカッション】 【いのち輝く未来社会におけるアカウンティングの在り方】 ～保証業務（Assurance）の本質とサステナビリティ情報の保証～
テーマ7	【パネルディスカッション】 学校法人制度改正を取り巻く社会的な課題の整理と期待される未来志向の取組
テーマ8	【パネルディスカッション】 賛否両論渦巻くSDGsに対し、持続可能な社会を築く公認会計士の役割
テーマ9	【パネルディスカッション】 ネットゼロ社会へ向けた排出量取引の会計処理及び実務課題の検討
テーマ10	【パネルディスカッション】 リスク管理実務の現場から内部通報に係る課題解決と健全な社会の実現へ